

市民活動における資金計画で大切なのは①「企画・事業を続けるのに最低限必要な金額」と、②「必要金額の集め方(資金調達)」の見直しを立てることです。資金調達では、寄付や補助金をあげる方も多いですが、それらはあくまでも「単発」の調達手段。依存しすぎると、もらえなくなったら活動ができなくなるリスクがあります。そのため、①はできる限り継続的に資金が集められる手段で賄えるようにしましょう。手軽なのはメンバーから集める「会費」。または参加者からもらう「参加費」です。

単発の資金調達的手段

- ・補助金
- ・寄付金
- ・クラウドファンディング

継続的な資金調達的手段

- ・会費
- ・寄付会員/賛助会員
- ・参加費
- ・物販/飲食代

避けたいのは、最初は無料だったのに後から会費や参加費をとったり、値上げをするケース。あまりいい気分はしませんよね。また、「まずは無料/割引で体験してもらって…」といった考え方も、割引の時と正規料金とは来てくれるお客様の層が違うことが往々にしてあるので要注意です。そのため、計画段階から会費や参加費の「適正価格」を見極めて、最初からその金額で活動に参加してくれる人を集めるようにしましょう。

事例 **てらどまり若者会議 ~波音~**



2019年に、親子船釣り&調理体験イベントを企画。長岡市の補助金を活用。予算計画は、定員25家族程度の規模で約30万円。そのうち今後イベントを開催する度に必要「恒常費用」は約10万円だった。

取り組み そこで、20組集まれば「恒常費用」を捻出できるよう参加費を1組5,000円に設定。補助金は単発の備品購入や、イベントのクオリティを高める装飾や広報費の強化などに充てた。

結果 5,000円という価格設定に不安はあったが、募集開始から1週間も経たずに定員に到達! 今後も継続的に活動ができる手応えを得られた。

この団体ができること

私たち、「森林インストラクターと市民有志」は**東山の自然をPRすることができます!**



工事で傷ついていた長岡東山の景観を取り戻そうと、地元の森林インストラクターと市民で活動中。池の整備や森林の保全活動だけでなく、自然観察の案内役や自然素材を用いたクラフト作りもしています。

協力してほしいこと ため池の泥上げ作業や杉木の除伐、特殊伐採、枝打ちの技術指導

活用しよう! **協働マッチングリスト**

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります!



センターからのお知らせ

活動をアピールしよう! **団体情報や活動報告を「コライト」に掲載しませんか?**

「ホームページを作りたいけど、作り方がわからない」「ホームページを作っても、ちゃんと管理できるか不安」という団体にオススメ! 協働センターのホームページ「コライト」に、団体情報やイベント告知、活動報告などを掲載しませんか? 自分でページを作らなくてもOK! 協働センターがインターネットを使った情報発信をお手伝いします。

掲載できるもの


- ・団体情報(団体名、活動目的、活動内容など)
- ・イベント告知
- ・定期的に発行している情報誌
- ・活動報告

掲載する方法

- ① 協働センターに団体登録する。
- ② 掲載したいものを、協働センターに持ち込むか、メールか郵便で送る。

※イベントのチラシや情報誌、活動報告文など、A3サイズ、10ページまで。
 ※団体登録の対象になるのは、3名以上の構成員がいる、地域社会や市民のために活動を行うNPO法人および市民活動団体です。営利を目的とするものや、政治・宗教に関わるものは除きます。
 ※イベント告知や情報誌、活動報告の掲載は、1つの団体につき1回まで承ります。

1週間後を目安に内容が掲載されます!



協働センター Q&A

よく寄せられるご相談

Q. 会費や参加費を上げたいのですが、批判が怖いのです。

A. 同じ内容で値上げをするなら理由を説明して納得していただくのが一番。他には、サービスを上乗せして価格を上げるという方法もあります。

Q. クラウドファンディング(以下CF)で活動費を集められますか?

A. CFはネットで寄付を呼びかけるサービス。利便性が高い一方で、手数料や返礼品などの経費が必要で、純粋な寄付に比べ実際に活動に使える金額は低いケースも。自分の活動に適しているかをよく検討しましょう。



Racotte vol.97
 発行 ながおか市民協働センター

2021
 1
 FREE

今月のインタビュー

地域や生徒から慕われる、県内民謡界の父親的存在

堀沢 誠さん



活動地域 **川口**

活動分野 | 文化芸術
 団体での役割 | 代表
 特技 | 柔道
 よく行く場所 | 日帰り温泉

何事にも楽しむ心を持つ素直な地域サポーター

小西希美恵さん



活動地域 **寺泊**

活動分野 | 地域づくり
 団体での役割 | 何でもやる
 特技 | ギター
 よく行く場所 | ラーメン屋

活動PickUp!

- 特定非営利活動法人 長岡医療福祉の里ボランティア連合会
- 一般社団法人 森の演出家協会長岡支部
- ドリーム21TORIGOE
- 割烹 美よし

市民活動・虎の巻

市民活動の活動資源『カネ』編 vol.2
 ~活動が自走するための価格設定を考えよう~

この団体ができること

私たち、「森林インストラクターと市民有志」は、東山の自然をPRすることができます!

毎週月曜日17時頃から放送中!

つながるラジオ

ながおか市民活動紹介番組 | FMながおか 80.7MHz | 10分程度放送 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト

コライト、見ない!

協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこまのバックナンバーも閲覧できます。

https://nkyod.org

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

活動PickUp!

生の声は「ラジオ」「コライト」で！
「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

堀沢 誠さん(74歳)
農家／堀沢ファミリー

1946年長岡市川口生まれ。28歳頃から本格的に三味線を始める。海外公演や全国大会での入賞を経て、2005年に団体を設立。



●川口中学校合唱コンクール(11月)にゲスト出演。同校に通う生徒もメンバーの一員としてその腕前を披露した。

個人の目標から“ファミリー”の目標へ
伝統芸能の魅力を次世代につなぐ

川口在住の堀沢誠さん。2005年から、自宅の作業小屋の2階にある教室で、小学校低学年から70歳代以上の方に三味線や唄を教える教室「堀沢ファミリー」を運営しています。「学生さんからは月謝を頂いていません。送迎や遠征など親の負担もわかりやすく、より長く続けてもらいたいですから」。

堀沢さんは、毎年青森県で開かれる「津軽三味線世界大会」に、前身である全国大会から、個人・団体と30年以上にわたり連続出場し数々の輝かしい成績を収めている、日本民謡界では知る人ぞ知る存在。そんな堀沢さんですが、功績を得るまでの道のりは決して順調ではなく、個人での初出場から入賞に至るまでにはおよそ20年もの歳月がかかったそう。念願の受賞を果たした後、堀沢さんは、次の新たな目標を立てました。それは、教え子や仲間とともに団体での入賞を狙うこと。団体の部でもやはり当初は苦戦したものの、十数年出場し続け、近年よう

やく入賞できるまでになりました。

師弟関係と演奏メンバーの関係という2つの立場が共存する中で続けてきた団体演奏。堀沢さんは相手の事情や考えに寄り添いながら、練習や日々の稽古に取り組んできたことで、自らが受ける称賛よりも、生徒たちの成長や彼らに対する周囲の評価を得ることが何よりうれしいという心境に至りました。それ以降、経験や年齢などに関わらず、自身を頼ってくる人たちに献身的に指導を続けています。

地域のイベントや福祉施設などでのボランティアの演奏にも精力的に出演。川口まつりや小・中学校での演奏を依頼された際には、習いに来ている子どもを積極的に出演させてきました。「自分のことより、生徒が褒められるのが何よりうれしい。仕事や学業など、それぞれ忙しいことはあると思いますが、まずは民謡をみんなで楽しんでいきたいです」。

活動の根っこ
感謝と笑顔
堀沢 誠

人との交流は私の宝物
いち参加者から始まった地域活動

地域活動をしていると友人から「まじめだね、意識が高いね」と言われることがある小西希美恵さん。そうではなく、地域活動は楽しく、気軽に参加できるもので、大学生で地域巡回パトロールのボランティアを始めた頃から今も、活動を楽しむ気持ちは変わらないそうです。

関東の大学を卒業後、2016年に長岡へUターン。旧長岡市内に住みながら「てらどまり若者会議～波音～」(以下波音)の活動に2018年から参加しています。波音に興味をもったきっかけは、仕事の異動で寺泊配属になった際、楽しそうなイベントをしていると思い、職場の同僚と参加したこと。「若い人たちが中心になって地域をみんなで盛り上げようとする気持ちに感動しました。私もイベントを通じて、寺泊の良さに気づき、スタッフとして波音の活動に参加することで、地域に貢献したいと思いました」。

波音での活動で気をつけていることは公私のバランス。「頑張りすぎると自分が崩れてしまいそうになる。毎回無理に参加しようと思わずに、参加できる時に思いっきり楽しんでいます」。今は地域活動で生活にメリハリがつき、ポジティブな気持ちでいられるそうです。

波音は自分たちがイベントを主催するだけではなく、地域のイベントや行事に協力しています。いち協力者だった小西さんが、そのうちのひとつに波音の担当として関わりました。「仕事では学べない知識や、そこでしかできない経験、人とのつながりがやりがいになっています」。

今後の目標は、企画から関わり波音でマルシェを開催して人が集まる場所をつくること。「色々な人たちとの交流が私の宝物です」。いち参加者から始まった小西さんの地域活動。着実な活動が地域に笑顔をもたらしてくれるでしょう。

小西 希美恵さん(27歳)
団体職員／てらどまり若者会議～波音～

1993年長岡市生まれ。仕事の異動で寺泊配属後、てらどまり若者会議～波音～を知り、現在はスタッフとして参加している。



●寺泊総合型スポーツクラブからスポ!が主催した「スポGOMI寺泊大会」に運営協力。チームとしても参加し、32チーム中3位の好成績を収めることができました。

活動の根っこ
素直さ
小西希美恵

特定非営利活動法人 長岡医療と福祉の里ボランティア連合会
五福の心でつながる地域食堂

長岡



地域の様々な人がふれ合える居場所をつくりたいと、2020年10月から地域食堂をスタート。食堂の名前は、町名と人生の五つの幸福をかけて「ごぶく食堂」としました。会食がまだ難しいことから、提供いただいた食材を中心にボランティアがお弁当を作り配布。おうち時間を楽しんでもらえるようなぬり絵やクイズを用意するなど、工夫をこらしています。活動を通して、ここに住む地域の皆さんが、幸せになってほしいと願っています。

一般社団法人 森の演出家協会長岡支部
森と人をつなぐ仲間

長岡



森の演出家協会は、「森活・人活・食活」をキーワードに森を活用するキャンプやワークショップ、音楽イベント、ネイチャーガイド、森の素材を活用したものづくりなど、森での活動を行っています。これからも、長岡地域にある伝統や豊かな自然の魅力をさまざまな視点からコンテンツ化して、現代人が失いつつある「心の豊かさ」や「生きる力」を体感できるアクティビティを提供していきます。

ドリーム21TORIGOE
地域おこしの夢に挑み続けるベテラン団体

三島



地域や公園の清掃活動、さいの神や春祭り奉納芸能祭などの行事を毎年開催している団体です。職業も年齢も違う仲間と一緒に、「鳥越を盛り上げたい」という想いを胸に26年間活動してきました。行事の参加者募集や後継者不足で苦労することもあります。参加者から「これからも続けてください」と言われるとやりがいを感じます。これからも地域の方々のお知恵を借りながら、活動を継続していきます。

割烹 美よし
想いをつなげるクリスマスプレゼント

川口



1974年から毎年欠かさず川口地域の保育園児たちへ文房具などのクリスマスプレゼントを送っています。創業者が始めた活動で、「地域社会に貢献したい」という想いからスタートし、現在もその志を受け継いで継続しています。保育園の子どもたちはもちろん、ご家族からも感謝の言葉を頂いております。川口地域への愛を込めて、地域から愛される活動をこれからも続けていきます。

みんなの声
投稿テーマ 「長岡みんなのSDGs」

投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する

投稿者クマに注意
STAY HOME中にてできることを考えました。寒かったら着る!暑かったら脱ぐ!お風呂は続けて入る!箱ティッシュをやめてビニールの簡易包装ティッシュに!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の目標"SDGs"に関する投稿を掲載しています。

SDGsに関する詳細は、2020年から2022年4月号の「虎の巻」をご覧ください。